

ひなみ塾 提案の作文2022

皆さん、このたびはたくさんの方の提案を書いてくださって、ありがとうございます。学校は、学ぶ人のためのものです。皆さんにとって理想の学校になるよう、ボクやスタッフにできることはすぐに全力で実行します。これからも、いつでも、何でも、提案してください。楽しみに待っています。

ひなみ塾 塾長 黒川裕一(おやびん)

提案	おやびん(塾長)からの回答
	イベント
サッカー、野球、ドッジボール、かるた大会、カードゲーム大会、宝探し、すごろく大会、キャンプ、お泊り会、クイズ大会、英語を使ったイベント、文化祭、紙飛行機大会、映画の上映会、みやじ豚BBQ、学習旅行がやりたい。	イベントをやるからにはしっかりとやるのが大切です。そこでまずは、今あるイベントをもっと充実させます。やりたいことがあれば、今後いつでも、何でも、クラス担当スタッフにご提案ください。全て、スタッフミーティングで検討し、回答します。
HINAMIの映画をもっと観たい。	時々、映画の上映会を企画します。お楽しみに。
みんなで大掃除をしたい。	毎年年末には恒例の大掃除を行い、終わった後はおいしいご飯を皆で食べます。ぜひご参加ください。
	設備・環境
ごみ箱を大きくしてほしい。	ひなみ塾には現在300名近くの塾生が通っており、一人一人が自分のごみを捨てるのととてもつもない量になってしまいます。そのため、飲食後に発生したごみなどは各自持ち帰っていただくようお願いしています。よって、ごみ箱は現状のままの大きさにさせていただきます。
マスクを着けずに学ばせたい。	現在ひなみ塾ではマスクの着用を強制しておりませんので、マスクが不要という方は外して受講していただいて構いません。一方、本人の体調やご家族の事情などマスクを着けておきたいという方は、どうぞご着用ください。
子供たちの様子が分かる動画を撮影してはどうか。	ひなみ塾では年に数回、授業参観を行っております。その際にオンラインでも保護者の方が見学できるようにします。
バッグや小物などをかごに入れて足元に置けるとありがたい。	かごは常備されていますので、必要な方は自由にお使いください。
ホワイトボードが付かないことがあるので新しくしてほしい。	予備を含め、新しいものを購入します。
トイレに防音シートを張ってほしい。	防音シートについて、まずは業者に確認します。
友達も誘って来れる自習室を作してほしい。	講座前などに、教室外の空きスペースを使って自習することができます。お友達もぜひ誘ってきてください。自習をする際は、「講座が始まったら静かにする」「使ったテーブルは綺麗にしてから帰る」「ごみは持ち帰る」といったルールを守っていただくようお願いいたします。
ペンをもっと増やしてほしい。	勉強は自分のために自分でするものですから、筆記具は自分で持参してください。忘れた人用に最低限のものは準備しています。万一忘れた場合はクラス担当者に言ってください。
テーブルを大きいものにしてほしい。	教室のサイズを考慮した時に、机が大きすぎても小さすぎても不便になります。現状のものはちょうどよいサイズではないかと思うのですが、いかがでしょうか。
本を増やしてほしい。	蔵書はこれからも増やしますのでお楽しみに。ただし、ひなみ塾はあくまでも「学びの場」ですので、それにふさわしいと考えられるものに限ります。ご了承ください。
時計を後ろにもう1つ増やしてほしい。	時計があれば、見てしまい、それだけ集中力がそがれることになりかねません。時間を忘れて打ち込んでこそ、勉強です。よって、時計は時間管理に必要な最小限の数、すなわち1個だけ置いています。
時計が見づらいので真ん中に移動させてほしい。	時計は、塾生の気が散らないように、正面を避けて今の位置にかけています。すなわち、振り返ってみようとしないう限り、時計が見えることはありません。また、教室に時計がひとつもないとクラス運営の効率が下がってしまいます。時計が気にならないくらい、全速力で目の前のことに集中することをお勧めします。
時計をもっと遠くに移動させてほしい。	同上。
木や花を置いてほしい。	植物には癒し効果がありますし、植物の成長に触れることには教育効果もありますので、植物を教室に置くメリットは確かにあります。同時に、何らかの手入れが常に必要であること、掃除の時間などに手間が増えることなどのデメリットがあるのも事実です。よって、デメリットを克服するアイデアさえあれば、植物の設置はしてもよいと考えます。アイデアを楽しみにお待ちしております。
靴箱を大きくしてほしい。	玄関にとれるスペースが限られているので、靴箱も一番奥行き狭いものを設置しています。快適に使っていただけるよう、玄関周りの整理整頓もしていきます。出入りの際は、お互い譲り合って靴を出し入れするのも、コミュニケーションの勉強となります。今のままでお願いします。
オイルヒーターを置いてほしい。	皆さんが快適に過ごしていただけるよう、寒さに対しても、工夫をしてみたいです。まずはひざ掛けや、暖房の温度調節で対応させていただきます。
大きい消しゴムを置いてほしい。	使いやすいサイズの大きさの消しゴムを準備します。

真夏、エアコンの温度をもう少し下げてもらいたい。	暑い場合や寒い場合は、いつでもスタッフにお申し付けください。
扇風機を置いてほしい。	エアコンの冷気を部屋全体に行き渡らせる為に扇風機や、サーキュレーターを使うと効果的です。快適に学んでいただけるよう、これらについて検討します。
部屋を明るくしてほしい。	照明が明るすぎても目によくないので今の明るさにしています。古くなった蛍光灯をとりかえるなど、できることをいねいに継続します。
テーブルとイスを新しくしてほしい。	備品費は毎年予算を計上し、必要な物から買い替えたり、買い揃えたりしています。テーブルとイスについては、安全管理の観点から、故障している物から順番に買い替えを行います。
テーブルとイスを高いものに変えてほしい。	買い替えの際に検討します。
『フロアマット交換 大作戦』 ひなみ塾のフロアに敷かれている緑のマットが汚れているため、交換を提案します。初めて訪れた際に、準備されていたスリッパを何気なく私は履きましたが、素足のままの方がおられました。その際に足の裏が汚れて良くないなあと、ふと思ってしまいました。 どれくらい使用されているか分かりませんが、マットの汚れの程度から替え時だと思われまます。マットを交換される際、もし願いが叶うのであれば、色を私の好みのものに変更していただくと嬉しいです。第一希望は、明るい木目調の色。日本人が好む和の感じであり、自然の中にあるような感じがして、武道や勉強が捗りそうで素敵です。第二希望は、淡いスカイブルーの色。青っぽい空間にしていると、心落ち着いて武道や勉強が学べそうで素敵です。特にお子さんは、集中して学べる空間になるのではないのでしょうか。こんな些細な、意見要望にお応えいただけますと嬉しいです。	マットの張替えはまとまった費用が掛かるため、毎年のように行うことは困難です。また、確かに変色はしておりますが、こくさんジュニア・こくさん・武道クラスでは毎回ぞうきん掛けをしております。しかし、一定の期間が経過し、マットの劣化が顕著になった場合には、張替えを行います。それまでは、年末の大掃除で定期的なきれいにします。どのタイミングで交換するか、スタッフとも検討します。決まりましたら、ご希望の色について、再度ご意見を伺いますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。
壁紙を張り替えてほしい。	壁紙が破れたり、汚れたりするのは、子供たちの成長のあかしであり、本校の財産であると考えています。しかしながら、壁紙やマットなどの消耗品の経年劣化が顕著になった場合には、もちろん張替えを行います。それまでは、穴が開いたところを補修したり、清浄したりするなど、日々のメンテナンスで対応します。
ホワイトボードの上の方が光が反射して見えにくいので、改善してほしい。	蛍光灯の一部にアクリルボードの覆いをつけることによって、ホワイトボード前が暗くなりすぎず、同時に反射をできるだけ抑えるようにあります。実験を重ねた結果、これ以上覆いをつけると暗くなりすぎるのが分かっています。ホワイトボードを次に買い替える際には、より反射率が低いものを選びます。
扇風機をつけてほしい。	エアコンの冷気を部屋全体に行き渡らせる為に扇風機や、サーキュレーターを使うと効果的です。快適に学んでいただけるよう、これらについて検討します。
エアコンを掃除してほしい。	定期的に清掃します。
入口を広くしてほしい。	玄関にとれるスペースが限られているので、快適に使っていただけるよう、玄関周りの整理整頓もしていきます。出入りの際は、お互い譲り合うのも、コミュニケーションの勉強となります。今のままでお願いします。
背が低いので、背が高い人が前だとホワイトボードが少し見にくい。 もう少し黒板を広くし、字を大きくしてほしい。	見にくい場合はすぐにスタッフ、アドバイザーへ相談してください。直ちに対応いたします。 同上。
仕組み	
おやびんやスタッフのことを先生と呼んでもいいようにしてほしい。	「ひなみ塾」には、先生は一人もおりません。おやびんとそれぞれスタッフがみなさんとともに、学ぶ場所です。
自分が座るイスは自分で取って、使い終わったら自分で直すルールを作る。	うれしいご提案ですが、出来れば「ルール」なしで実行できるようになるとよいと考えます。いかがでしょうか。
後片づけをみんなでしたい。	ぜひお願いします。
暖房が効きすぎて眠くなることがあるので換気をしてほしい。	教室内に換気扇と空気清浄器を設置し、講座と講座の間には必ず換気を行います。
サブリーダーの役割を決めてほしい。	リーダー・サブリーダーの役割を一覧にします。
こくさんジュニア	
将棋の時間を増やしてほしい。	いつでも将棋ができるように準備しています。講座後に将棋を楽しむこともできるので、いつでもスタッフに声をかけてください。
料理をしたい。	「こくごとさんすう」クラスでは、年に4回、料理を行っています。進級を楽しみにしていただきたいと思います。
新しいパズルを増やしてほしい。	新パズルの開発は常に行われています。発表を楽しみにお待ちしております。

トランプタワー、綱引き、折り紙、かくれんぼ、アイロンビーズ、虫取り、野球、理科の実験、レゴ、プログラミング、ドッジボール、サッカー、おにごっこ、けいどろ、バドミントン、プール、こおりおに、跳び箱、トランポリンをしたい。	ご提案いただいたものは、全て、スペシャルで実施できないか検討します。他にもやりたいことがあったら、何でもご提案ください。
読書の時間を作ってほしい。	本校は「読み書き」を学習の基本に位置づけて重んじており、読書の習慣づけは大いに賛成です。講座内で読書の時間を設けるのは難しいですが、講座前や講座後は空いているスペースで自由に読書をして結構です。
迷路パズル、将棋、ルービックキューブ、かけっこ、鉄棒、ねこたろうの回数を増やしてほしい。	回数を増やせないか検討します。
休憩時間が欲しい。	90分間休みなく集中し続けること自体が勉強であり、将来の土台となる習慣づけの一部です。よって、基本的には講座内に休憩時間を設けることはありません。
パズルをする時間を長くしてほしい。	ありがとうございます。パズルをたくさん解いてもらえるように、家庭学習(パズル・宿題)ノートを導入しました。ノートが2冊、3冊と増えるごとに、持ち帰れるパズルの数も増やせるような仕組みになっています。
宿題を増やしてほしい。	同上。
こくさん	
今日習う勉強の説明のプリントを配ってほしい。	勉強の説明が書いてあるプリントが、単元ごとに配布される「テキスト」です。テキストを読んでも分からないときや、授業を聞いても分からないときはメモを取る、質問するなど、自分にできることをまずはやってみてください。ひなみ塾の学習の指針である、「すぐ、自分から、全速力で、最後まで」の「すぐ、自分から」に当たります。
計算の仕方などの本がほしい。	計算の仕方については、整数・小数・分数などそれぞれの計算の仕方をこくさんの授業でも学びます。講座内で使用しているテキストで足りない場合は、補強のプリントを用意していますので、そちらをご活用ください。それでも足りないと感じたら、自分に合った問題集などを探してみてください。
持って帰るパズルの量を増やしたい。(例えば10枚)	前向きなご提案、とても嬉しいです。終わっていないパズルが手元に残っていない場合は、10枚まで持ち帰ることができるように、ルールを変更します。
アドバイザーをもっと増やしてほしい。	随時募集しています。ひなみ塾の基本方針は「自分から」ですので、アドバイザーにも自分から立候補してもらっています。中学生になったら、ぜひ立候補してください。
スペシャルクラスをもっと増やしてほしい。	他のコンテンツとのバランスを考慮し、増やせないか検討します。
パズルを取りやすくしてほしい。 置く場所を増やしてほしい。	取りやすくなるように、昨年カートを導入しました。もっと良い方法がないか検討します。具体的にどうすれば取りやすいのかどう置くのが良いか、いつでもご提案してください。
もっとパズルの種類を増やしてほしい。	ひなみ塾にはたくさんパズルがあり、全てをコンプリートした塾生はいまだに一人もいません。まずは、「全コンプリート」の最初の一人になってください。また、新パズルの開発は常に行われています。発表を楽しみにお待ちしております。
もっと映画を撮りたい。	現在、HINAMIでは長編映画を年3本以上撮影しており、2022年は、ZOOMでの撮影も含め12本の作品を撮影します。また、「1」の撮影は、月に2回のペースで行っています。いつでもご参加ください。
料理の回をもっと増やしてほしい。	他のコンテンツとのバランスから、現時点では、年に4回の食育講座が最適と考え、スケジュールを組んでいます。
こくさんジュニアでやったコンテンツ(飛行リングや紙飛行機、ルービックキューブ、かけっこ)やパズルをやりたい。	スペシャルで実施できないか検討します。他にもやりたいことがあったら、何でもご提案ください。
ひなみ塾のみんなで、人狼ゲームをSPクラスでしたい(外で運動、ドッジボール、トランプ大会、カードゲーム、将棋9×9、五色百人一首、かるた、塗り絵、オセロ)	同上。
電子黒板を使って動画を見たい。 タイピング、プログラミングをやってほしい。	タブレットのような電子機器は、便利である一方で、弊害も多数指摘されています。歴史が証明しているのは、紙と鉛筆さえあれば人は学べるということであり、「タブレットのように便利な道具がなければ学べないこと」はほとんどないということです。道具に頼らず、自分の目や耳や口や手を使って学ぶ習慣をつけましょう。
5分シリーズを外でしたい。	いいですね。できる限り、そうしましょう。ただし、外に出れば、その分移動時間がかかります。また、安全管理も格段に大変になります。よって、「そうするだけの必然性」があるときだけ、言い換えれば「外に出なければ学べないことを学ぶ」というはっきりとした目的があるときだけ、外に出ることになります。具体的に外で何を学びたいか、いつでも提案してください。楽しみに待っています。

5分シリーズでこくさんJrのリズムなどの運動系を増やしてほしい。(ダンス、リレー、マラソン)	リズム(ダンス)は楽しいですね。運動系コンテンツは総合学習の優れたコンテンツになり得ますので、増やすことが出来ないか検討します。
縄跳びをもっとしてほしい。	5分シリーズでは、できることが限られています、可能な限り時間を長くとります。
国数	
応用問題でヒントが欲しい。	原則として、ヒントは出しません。応用問題は自分の頭で考えて、工夫することが何より大事であり、その過程で、問題が解けたか否かにかかわらず、知的な成長は必ず起きるからです。それを後押しするために、自分なりに考えて導き出した答えとそこに至る過程を示していただければ、「ヒント」になり過ぎないように注意しつつ、その次のステップに繋がるようなことをお伝えします。
スペシャルで映画を撮りたい。	どんな映画を撮りたいか、いつでもご提案ください。アイデアを楽しみにお待ちしております。
宿題で作文の回を増やしてほしい。	現在、月に一度宿題で作文に取り組んでいただいています。中学生には「文章の根拠と主張を見抜くこと」と「自分の知らない語彙や自分とは異なる考え方に触れること」を通してコミュニケーション力を高めることを優先してもらいたいので、現状のままとさせていただきます。
国数でも講座パズルの集計をしてほしい。	国数でもパズルの集計をします。
料理の時間を増やしてほしい。	2023年もスペシャルクラスで食育講座を年3回開催します。スペシャルクラスの回は皆さんの意見も聞きながら色々なことを実施していきたく、現時点では年に3回の食育講座が最適と考え、スケジュールを組んでいます。
スペシャルでシチュー、豚カツを作りたい。	毎回、スタッフと相談しながらメニューを決めています。皆さんからの提案も大歓迎です。楽しみに待っています。
数学の応用問題を増やしてほしい。	「勉強は量より質」というのが、おやびんの一貫した考えです。典型的な例題は基本テキスト内に網羅されていますし、応用問題は中学レベルをはるかに超えたものも含めて必要十分に取揃えています。まずはこれらをすべてクリアしてください。相当な力がつきますよ。
国語の回を増やしてほしい。	現時点では年に4回の国語の回が最適と考え、スケジュールを組んでいます。
運動をしたい。	運動は楽しいのみならず、とても重要な総合学習コンテンツであり、本校でも小学生クラスでは運動系のコンテンツを実施しています。中学生も、スペシャルコンテンツとして盛り込めないかどうか検討します。
スペシャルで将棋やオセロをやりたい。応用問題の団体戦を増やしてほしい	検討します。
スイッチやマイルーティンを見直し、新たに増やす時間をとってほしい。	2~3か月に一度、時間をとります。
今日のお話を1回の講座で何回もやりたい。	年に3回「今日のお話」に集中して取り組む回を設けています。現時点では年に3回が最適と考え、スケジュールを組んでいます。
英語基礎	
口頭応用の種類を増やしてほしい。	全330問の口頭応用問題、早口言葉、30words、映画スペシャルのすべてをコンプリートした人は、ひなみ塾の歴史上まだ一人もいません。コンプリートする人が出たら口頭応用の種類を増やします。まずはひなみ塾史上初のコンプリートを目指してください。
早口言葉のお手本動画を作ってほしい。	動画を作成します。完成したらご報告しますので、楽しみにお待ちしております。
英語の映画を作りたい。	どんな映画を撮りたいか、いつでもご提案ください。アイデアを楽しみにお待ちしております。
スペシャルで洋楽を使って学びたい。	英語Aクラスでは時々洋楽を使って学んでいます。洋楽の歌詞は「詩」なので、難易度が格段に上がります。よって、英語基礎基礎クラスでまずは土台を固め、英語Aに進んで、より高いレベルで楽しみながら学んでください。
英語版ねこたろうを作ってほしい。	「ねこたろう」は103までお話があります。ねこたろうはまだひなみ塾では誰もコンプリートした人がいません。コンプリートする人が現れたら、英語版ねこたろうの作成を検討します。
日常的に使える英語を教えてほしい。	英語基礎で学んでいることは、日常で使えるものばかりです。機会をとらえて、ぜひ使ってみてください。
早口言葉や30wordsをすべて終わってなくても発音を見てもらいたい。	まずは口頭応用問題の全問クリアを目指してください。その際に発音チェックも行います。別途発音を見てもらいたい場合は、休み時間などを利用し、個別に声をかけてください。いつでも待っています。

映画の音声、スピードが遅いものもあげてほしい。	音声ファイルを開く際に設定を変えるとスピードを遅くすることができます。操作方法が分からない場合はスタッフにいつでも聞いてください。
口頭応用を置く場所を高くしてほしい。	取りやすいよう、高い場所へ移動します。
口頭応用を置く場所を並ぶ場所と離してほしい。	皆さんが快適に学べるよう、配置を変えます。
英語で会話する時間がほしい。	実際に話すことはとても良いことです。ぜひ、講座の前後に同じ机の人などと話してみてください。
口頭練習の時間を長くしてほしい。	できる限り長くするようにします。
口頭応用だけに取り組む回を作ってほしい。	検討します。
英語でも料理をしてほしい。	国数における総合学習が料理、英語基礎における総合学習が映画を使った授業になります。ご理解いただければ幸いです。
スペシャルの映画を自分たちで決めたい。日本の映画の英語吹き替え版をやりたい。	スペシャルで取り上げる映画は、皆さんからのアンケートを参考にするとともに、中学生が学ぶテキストとして最適のものを厳選しています。知っている映画を取り上げることの良い点も多いですが、知らない映画の面白さを知っていただく機会にもなれば良いと考えています。取り上げてほしい映画があれば、クラス担当スタッフにいつでもお伝えください。
音声だけでなく、映像も一緒に見れるようにしてほしい。	映像も使って復習したい場合は、インターネットで動画を探るか、DVDを購入するかしてください。
英語A	
一年間の講座のうち一回を、「暗記した映画の一場面の発表」と「英語学習と映画をテーマに語り合う」という内容にする。	講座内で時間を取ることは難しいです。しかしながら、たとえば英語A水曜午前クラスでは講座後の復習会が長年続いています。講座前後などの時間を利用し、ぜひクラスメイトの方と企画してみてください。自主的な学習企画は、ひなみ塾の「自分から学ぶ」という精神を体現したものです。心から歓迎します。
音声を繰り返し何度も聴きたいが、スマホでもリピートできる方法はないのか。	機種によって異なるかもしれませんが、スマホに音声ファイルを一度ダウンロードしていただき、再生プレイヤーを使って再生するとリピート再生も可能になると思います。一度お試しください。
学習機のサイド側に座るとレバーが膝に当たるので、クッション性が欲しい。	「レバーの操作しやすさ」という観点から、カバーをつけないままにさせていただけると助かります。レバーを避けて座っていただくか、どうしても気になる場合はクッションや毛布などをご持参いただくようお願いいたします。
ブレイクアウトルームで常にチャットと画面共有ができるようになる嬉しい。	調べたところ、ブレイクアウトルームでも画面共有は可能であるようです。今後はそのようにいたしますので、万一画面共有ができない場合はすぐにお知らせください。直ちに対応いたします。
映画の映像をスクリーンに映すときに、テレビが邪魔になって見えないことがあるので改善してほしい。	早速、テレビの設置位置を変更いたしました。この配置でしばらく試してみます。ご提案ありがとうございます。
「講義内容のまとめ」をもう少し早くアップしてほしい。	出来る限り、早くアップしますが、水曜の夜クラス終了後となりますので、火曜クラスと水曜AMクラスの方はお待ちさせていただきますこととなります。ご理解くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。
スクラップブックの色を四色そろえてほしい。	在庫が少なくなってからまとめて購入しておりますので、冊数が少なくなってきた場合、そろっていないことがあったかと思います。今後は、気を付けてそろえるようにします。ご希望の色がない場合は遠慮なく、リクエストをお願い致します。
今後扱ってもらいたい映画作品:「ズートピア」	承りました。教材候補リストに追加いたします。
英語B	
教養部分(宗教学や現代社会のこれから等)の解説をもっと増やしてほしい(今でも結構な時間をとってくださっているとは思いますが)。	「ひなみ大学」(毎週木曜20:00~21:30)では、コミュニケーション、宗教、禅、哲学、日本文学、アメリカ文学(英語文化)、サイエンスなど様々なテーマについて学んでいます。塾生はいつでも無料で体験ができますので、ぜひ一度体験してみてください。
まだ数回しか通っていませんが、目的をもって音読することの大切さを学びました。使われているテキストの単語等の難易度はよいです。内容(文脈)を理解するには、歴史等の教養がかなり必要であり、おやびんの解説を聞き、咀嚼しようとする段階です。いずれにしても、私にとりチャレンジの講座内容です。英語Bも特別クラス等で集中して学ぶ機会があれば、と思います。	英語Aクラスでは定期的に復習会をすることが長年続いています。ぜひクラスメイトの方を誘って企画してみてください。
自分の音読がうまくなっているか(もしくはどこを練習したらいいのか)をみんなが確認できるように、復習の時間に一人一文ずつ読める時間を増やしてほしい(他の人へのアドバイスが自分のためのものになることもあるから)	講座時間に限りがあるので全員は難しいかもしれませんが、できるだけ多くの受講者が一文ずつでも読めるよう、時間を取ります。

<p>今は講義スタイル、内容についても、大満足です。英語だけでなく、それに関して、おやびんの解説で中身が深く読み込める事です。レベルはかなり高いものの、わかり易く進めて下さるので、今まで継続する事ができました。おやびんの話が、毎週面白く、興味深く、学ぶ意欲だけでなく、生きる力も頂いてます。これからも継続していくつもりです。宜しくお願いいたします。</p>	<p>こちらこそ、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>英語を訳すのを、もう少しゆっくりしてほしいです。</p>	<p>できるだけゆっくりと訳をするようにします。しかしながら、講座時間との兼ね合いもあり、一定の速度を保たざるを得ませんので、分からない部分があった場合は講座後にアップロードされる講義録を読んで理解を深め、それでも分からない場合は遠慮なくご質問ください。</p>
<p>教室やオンラインで皆さんにお会いしますが、顔と名前を知るだけに終わっています。昭和初期世代としては何となく寂しさを感じます。県外在住の方もおられますから年末年始や年度の切り替わりの時に一堂に会しての茶話会、或いはオンラインで懇親を深められたらと思います。</p>	<p>具体的にどんな方法や形式が良いか、いつでもご提案ください。喜んでご対応いたします。</p>
<p>武道クラス「如水」</p>	
<p>剣などの武器を使った練習がしたい。</p>	<p>武器の回は、二か月に一度回ってきます。現行ではヌンチャクが中心となっておりますが、棒(棒術)・忍者刀・カリストック・鞭・トンプアなどたくさんの武器を準備しております。紹介であればすぐに出来ますが、習得するのはすぐには難しいので、希望を募りながらひとつずつ稽古していきましょう。</p>
<p>「武器」の頻度を上げてほしい。</p>	<p>他コンテンツのとのバランスを考えて、上記の通り二か月に一度となっております。稽古の前や、自主稽古の際にぜひとも個別に稽古や質問をお願いします。喜んでお受けします。「ひなみ塾」にある武器は、どんどん使ってみてください。</p>
<p>筋トレを毎回やりたい。</p>	<p>限られた時間内では、毎回筋トレをすることは難しいのが現状です。筋トレは、正しくすることが大切です。定期的に時間を取っておやびんがやっている正しい方法を教えますので、あとは、自宅での鍛錬をお願いします。これまでも、本当に「効く」筋トレをいくつも教えてきました。おやびんは毎日必ずやっていますよ。</p>
<p>おやびんの武道の技の動画をたくさん見てみたい。</p>	<p>ありがとうございます。今後もできる限り多くの動画を撮りYouTubeにアップします。また、稽古の最後におやびんの解説付きで動画を鑑賞することも始めます。リクエストもお待ちしています。</p>
<p>ひなみ大学</p>	
<p>コロナ前のひなみ大学で心地のいい時間の一つは授業前後に他の塾生と話す時間があったことでした。それをオンラインで無理やりつくるのは違和感があるのですが、なにか方法があればもっと楽しそうだなと思います。</p>	<p>具体的にどんな方法や形式が良いか、いつでもご提案ください。喜んでご対応いたします。</p>
<p>しごとの学校</p>	
<p>オンライン授業や自主ワークの際に、マイクを回してもらうのではなく、全体が聞き取れるような集音マイクを設置してほしい。</p>	<p>数年前に集音マイクを試してみましたが、機能しませんでした。おやびんは映画の音声録音を専門のひとつとしており、それぞれのマイクの集音力や特性を理解しています。プロとして精査した上で、「マイクを発話者の近くにあるようにすること」、すなわち「マイクを回すこと」が今のところ最良の方法であると判断しました。もちろん、さらに良さそうな方法があれば、すぐに試します。</p>
<p>おやびんの講座の復習がしたい。</p>	<p>修了生に話を聞く機会があるのですが、何年経っても講座録を見直すと新しい学びがあり、また忘れていたことも多々あるとのこと。まずは、ご自身で復習された上、自主運営で「勉強会」を立ち上げてみませんか？ちなみに、英語Aの水曜午前クラスの皆様は、講座帰りに毎週2時間ほど、有志にて「復習会」を実施しておられます。</p>